2006 年 12 月 9 日

平成 18 年度武蔵工業大学市民講座

第 8 回　8-１農から広がる絵本の世界　8-2 講座のまとめ

8-1「農から広がる絵本の世界」の講師いわむらかずお氏（本講座企画委員長の岩村和夫教授と同姓同名）は 1939 年東京生まれ。東京芸術大学工芸科卒業。1975 年東京を離れ栃木県益子町の雑木林の中に移り住む。絵本「14 ひきのシリーズ」（童心社）や「こりすのシリーズ」（至光社）は国内だけでなく、フランス、ドイツ、台湾などでもロングセラーとなり、世界の子どもたちに親しまれている。1998 年 4 月栃木県馬頭町（現、那珂川町）に「いわむらかずお絵本の丘美術館」を開館。絵本・自然・子どもをテーマに活動を始めた。今回の講演は「いわむらかずお絵本の丘美術館」を中心とした活動について詳しく紹介された。絵本の大切な読者であるこどもたちが、自然の体験からどんどん遠ざかっていく危機感から、絵本の世界と自然の実体験（農場）が同時にある場所を作る構想で地元をはじめ多くの人々の協力でこの美術館ができた。いのちの営みの中心に「食」があり、人間の「食」の中心に「農」があることをとかく忘れがちであるが、その重要性を再認識した。生き物が共生している日本の原風景をフィールドに優れた絵本の素材があることを理解した。絵本の朗読もありすばらしい講演であった。

絵本の丘美術館のホームページ　http://www.ehonnooka.com/

8-2「講座のまとめ」は本講座企画委員長の岩村和夫教授が行った。短時間に要領よくすべての講座についてレビューされた。

　本講座を聴講して「都市」とは何か？　多くの人々が都市に集まるのはなぜか？都市における農業の再生は可能か？などいろいろ今後考えるテーマをいただいたように思う。

終わりに、学部長から終了証が参加者に手渡された。